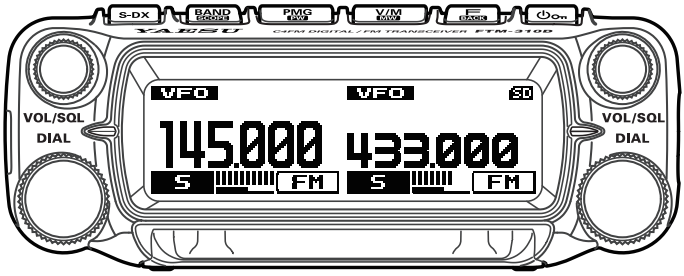
YAESU

Radio for Professionals

C4FM/FM 144/430MHz
DUAL BAND DIGITAL TRANSCEIVER

FTM-310D
FTM-310DS

取扱説明書　WIRES-X 編



FTM-310D/DS をノード局用の無線機として HRI-200 と接続して使用する場合は、[PMG] キーと [V/M] キーを同時に押しながら電源をオンにします(29 ページ参照)。通常モードに戻るには、もう一度 [PMG] キーと [V/M] キーを同時に押しながら電源をオンにします

外出先でもインターネット環境があればデジタルノード局の運用ができる「WIRES-X ポータブルデジタルノード機能」に関して詳しくは、"WIRES-X ポータブルデジタルノード機能 取扱説明書"(当社ウェブサイトからダウンロードできます)を参照してください

製品の仕様・外観等は改良のため予告なく変更することがあります
この取扱説明書に記載の社名・商品名等は、各社の商標または登録商標です
この無線機を使用するには、総務省のアマチュア無線局の免許が必要です
また、アマチュア無線以外の通信には使用できません
この取扱説明書は、"WIRES-X 機能" に関しての説明が記載されています
基本的な操作に関しての説明は、本製品に同梱の取扱説明書をお読みください

目次

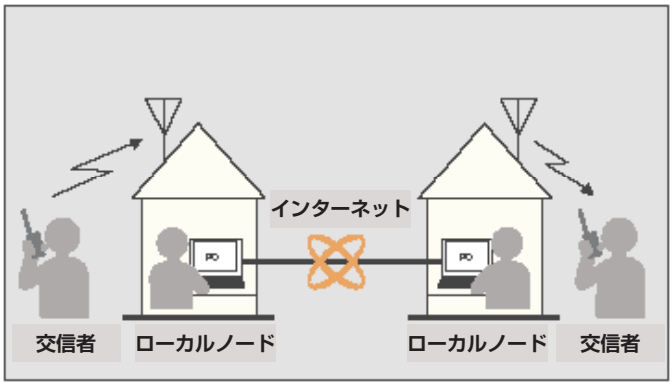
WIRES-X とは？ 4
用語について 5
WIRES-X を使って遠方の無線局と交信する 8
ローカルノードを見つける 8
デジタルモードで接続する 9
ノード局に接続する 9
インターネット上のノード局やルームに接続する 10
交信する 12
WIRES-X の運用を終了する 12
デジタルモードでの便利な機能 13
プリセットチャンネルを使う 13
登録したノードやルームに接続する 14
アナログノードに接続する 16
インターネット上のノードやルームに接続する 16
交信する 16
接続したアナログノードやルームを切断する 16
WIRES-X のニュース機能を使う（デジタルノードのみ） 17
メッセージを見る 17
ローカルノードのメッセージを見る 17
WIRES-X サーバー（INT NEWS）のメッセージを見る 18
インターネット上のノードやルームのメッセージを見る 18
保存したデータをあとから見る 19
取り込んだデータを整理する 19
データを削除する 19
音声メッセージを聞く 20
ローカルノードの緊急の音声メッセージを聞く 20
ローカルノードの通常の音声メッセージを聞く 21
WIRES-X サーバー（INT NEWS）の通常の音声メッセージを聞く 21
インターネット上のノードやルームの緊急の音声メッセージを聞く 21
インターネット上のノードやルームの通常の音声メッセージを聞く 22
メッセージを送る 22
ローカルノードにメッセージを作成して送る 22
保存されているメッセージまたは画像をローカルノードに送る 24
インターネット上のノードやルームにメッセージを作成して送る 24
保存されているメッセージまたは画像をインターネット上の
ノードやルームに送る 24
音声メッセージを送る 25
ローカルノードに緊急の情報を送る 25
ローカルノードに通常の音声メッセージを送る 25
インターネット上のノードやルームに緊急の情報を送る 26
インターネット上のノードやルームに通常の音声メッセージを送る 26

WIRES-X セットアップメニュー 27
WIRES-X セットアップメニュー一覧 27
WIRES-X セットアップメニューを使う 27
レピータ /WIRES-X の運用周波数の設定 27
ノード / ルーム一覧の表示順の設定 27
カテゴリータグ(名前)の編集 27
カテゴリーに登録したノード / ルームの削除 28
ノード局に接続する WIRES-X DG-ID 番号の設定 28
HRI-200 と接続してノード局に使用する 29
HRI-200 接続専用モード 29
WIRES-X ポータブルデジタルノード機能 29

WIRES-X とは？

WIRES（Wide-coverage Internet Repeater Enhancement System）は、アマチュア無線のカバー範囲を広げるための、インターネットを利用した通信システムです。電波信号をインターネットで中継することで、電波の届かない遠距離の無線局同士をつなぎます

WIRES では、パソコンを通してインターネットに接続した無線局（ローカルノード）が、通常の無線局の交信を仲介するアクセスポイントとなります。ローカルノード同士がインターネット上で接続していれば、通常の無線局はローカルノードに接続するだけで、世界中のアマチュア無線局と交信できます



さらに、WIRES でデジタル通信に対応したのが WIRES-X です。従来のフォーンパッチ運用に加え、デジタル化されたテキストや画像、音声などのデータを送受信できます

本機では、アナログ、デジタルを問わず、WIRES-X を使って交信圏外の無線局と交信できます。デジタル通信モードでは、ノード局をコールサインやキーワードで検索したり、メッセージや位置情報などをやりとりできます

用語について

■ ノード

パソコンを通してインターネットに接続した中継専門の無線局。無線局との交信を仲介するアクセスポイントとなります

●ローカルノード

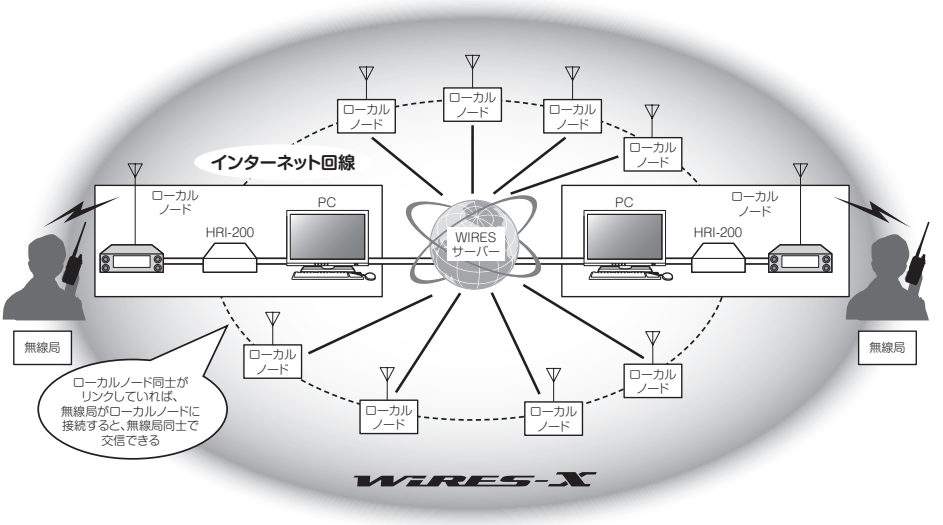
通常の無線局から電波が届く範囲にあるノードのこと

●アナログノード

使用している無線機やレピーターが従来の FM 方式のノードのこと。このノードでは DTMF(Dual Tone Multi Frequencies)コードとアナログ音声の送受信だけを中継できます

●デジタルノード

C4FM デジタルに対応した無線機やレピーターを使用しているノードのこと。このノードでは、音声での交信だけでなくテキストや画像などのデータをやり取りすることができます。また、DTMF コードとアナログ音声の送受信も中継できます



■ WIRES-X ユーザー ID

当社が WIRES-X のノードに付与する識別名。1 つのノードに対して DTMF ID(5 桁の数字)とユーザー ID(最大 10 桁の英数文字列)の 2 種類が割り当てられます
接続したいノードの ID を、無線機から DTMF ID を送信したり、文字列でユーザー ID を検索したりして(デジタルのみ)、接続先を直接指定することができます

●アクティブ ID リスト

当社のウェブサイトで公開している、WIRES-X 運用中のノードとルームの一覧。ID のほか、コールサインや運用周波数などの情報が掲載されています(ノードやルームオーナーの意向により一部公開していない場合があります)

■ ルーム(Round QSO Room)

複数のノードが同時に接続できる、WIRES システム上のコミュニティスペース。音声での会話のほか、ノードからはパソコンでのチャットもできます

●オープンルーム

接続できるノードを限定しないルームのこと

●クローズドルーム

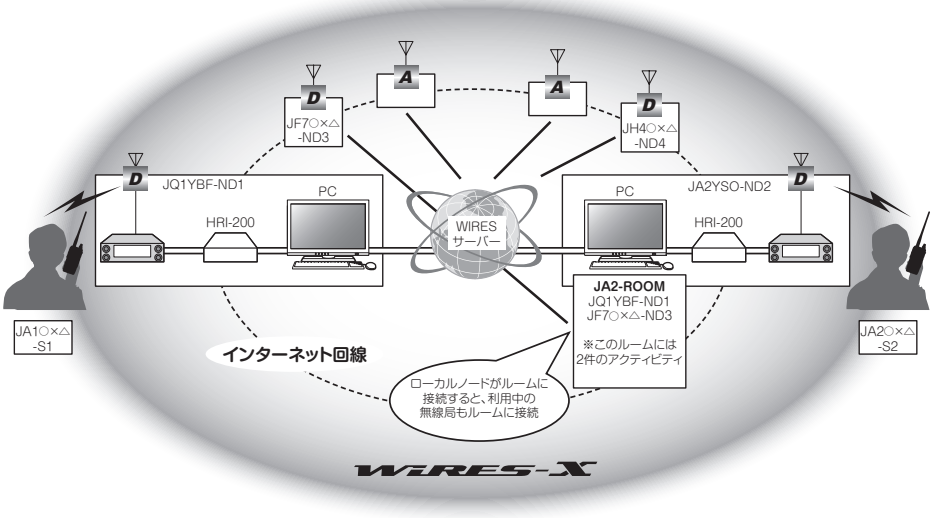
メンバー登録したノードだけが接続できるルームのこと

●デジタルルーム

デジタルノードだけが接続できるルームのこと

●アクティビティ

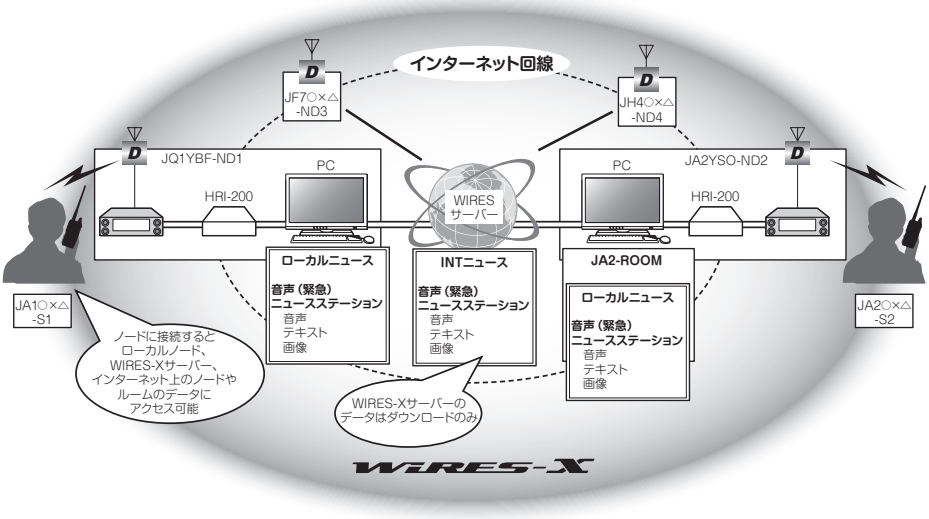
ルームに現在接続中のノード数のこと



参考：図中の D はデジタルノードを示しています。また、A はアナログノードを示しています

■ ニュース機能

ノードのパソコンにデジタルデータ(テキスト、画像、音声)を保管し、接続したデジタル無線機から利用できるようにした仕組み
デジタル無線機は、ローカルノード(LOCAL NEWS)、接続先のノードやルームのデータ保管場所(ニューススステーション)にアクセスして、各種データの書き込み(アップロード)や読み出し(ダウンロード)ができます
ノードやルームオーナーは、自局のデータをパソコンから読み書きできるほか、データの削除や名前・属性の変更などもできます
なお、WIRES-X サーバー自身のニューススステーション(INT NEWS) もあり、当社が掲載するお知らせやデータを読み出すことができます



■ プリセットサーチ機能

ローカルノードに接続するときに使うチャンネルを無線機に登録(プリセット)しておくと、WIRES-X を起動したときに自動的にそのチャンネルをスキャンする仕組み
次のような使いかたができます

- いつもアクセスするローカルノードの周波数をプリセットして、すばやく接続する
- 仲間のノード同士で申し合わせた周波数をプリセットして、移動先でも交信圏内にあるローカルノードにすばやく接続する

ノード側も、無線機を 2 台使ってプリセットサーチチャンネル(待ち受け専用)とボイスチャンネル(運用チャンネル)を使い分けることができます

WIRES-X を使って遠方の無線局と交信する

ローカルノードを見つける

本機で WIRES-X を使って交信するには、本機から電波の届く範囲に WIRES-X ノード局(ローカルノード)が開設されている必要があります

WIRES-X ノード局の所在地や運用形態などの一覧を、当社のウェブサイトに掲載しています。
https://www.yaesu.com/jp/wires-x/index.php

まずはこの一覧で、自局が利用する近くのローカルノードと、交信したい相手局が利用するインターネット上のノードを探して、ノード名やノード番号、周波数、SQL 情報(DG-ID やトーン周波数)を控えておきます
また、接続方法が異なりますので、ローカルノードがデジタル局かアナログ局か確認しておきます

- **ローカルノードがデジタルノード局のとき**
  本機からは C4FM デジタルモード (DN モード)で接続します
  (インターネット上のノードはデジタル、アナログどちらでも接続できます)
- **ローカルノードがアナログノード局のとき**
  本機からはアナログ FM モードで接続します
  (インターネット上のノードはアナログ、デジタルどちらでも接続できます)

デジタルモードで接続する

ノード局に接続する

●WIRES-X による通信には以下の 2 つの接続方法があります

(1)WIRES-X デジタルノード局を使って交信する

インターネット上のノード局またはルームに接続していることが分かっているノードや、自局パソコンで WIRES-X ソフトウェアの画面が直接操作できるような場合に便利な接続方法です

ローカルの WIRES-X ノード局に設定されている DG-ID 番号を確認してください
WIRES-X ノード局に接続するためには、本機の DG-ID 番号を WIRES-X ノード局側で設定している DG-ID 番号にあわせます

※ WIRES-X ノード局の運用モードが C4FM デジタルであることを確認します

1. 送受信の DG-ID 番号をノード局と同じ DG-ID 番号にあわせます
   DG-ID 番号の設定方法は、FTM-310D 取扱説明書(詳細編)の“**DG-ID 機能を使って交信する**”を参照してください

この接続方法で設定する DG-ID 番号は通常の DG-ID 番号です
セットアップメニューの“**68 WIRES DG-ID**”で設定する WIRES-X の DG-ID 番号ではありませんのでご注意ください

2. ノード局の送受信周波数にあわせて送信します
   - ノード局から応答があれば、このまま交信することができます
   - ノード局から応答が無い場合は、ノード局がインターネット上のノード局またはルームに接続されていない可能性があります。その場合は、次項の“**(2)接続先のノード局またはルームを変更して交信する**”を参照してインターネット上のノード局またはルームに接続して交信します

(2)接続先のノード局またはルームを変更して交信する

1. F キー長押し → **【68 WIRES DG-ID】** → **DIAL** ツマミ(右側)短押し
2. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして接続したいノード局の DG-ID 番号を選択します。
   AUTO： DG-ID 番号が“00”に設定されているオープンノード局に接続できます
   01 ～ 99： 設定した DG-ID 番号に一致するノード局のみ接続できます
   工場出荷時設定は“AUTO”です
3. F 、P 以外のキーやツマミを押すと設定を終了して運用画面に戻ります

4. 周波数を接続するローカルノードの周波数にあわせます
5. (DISC) キー短押し
6. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【WIRES-X】**を選択 → **DIAL** ツマミ(右側)を短押し
   画面の左上に“ X ”アイコンが点滅して、ローカルノードへの接続を開始します

> ローカルノード局が見つからない場合は、約 20 秒後に接続を中止して“ X ”アイコンが消えます

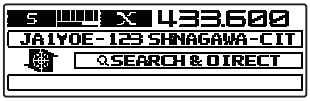
7. ローカルノードに接続すると“ X ”アイコンが点滅から点灯に変わり、接続先表示(画面の上段)にローカルノードの“**ノード ID**”と“**都市名**”が表示されます
   接続先表示(画面の下段)の先頭に“ ▶ ”が表示されているときに、**DIAL** ツマミ(右側)をまわして接続先表示に自局が以前に接続したインターネット上のノードまたはルームを点滅表示させます
   この状態で **DIAL** ツマミ(右側)を押すか、または **PTT** スイッチを押すと、選択したインターネット上のノードやルームに接続してインターネット通信をすることができます

インターネット上のノード局やルームに接続する

次のいずれかの方法で希望するノード局やルームに接続できます
- 接続可能なノード局とルームの一覧から選んで接続する
- ノード名またはルーム名を指定して接続する
- 最後に接続したノードまたはルームに接続する
- 接続先のノードやルームの DTMF ID を指定して接続する

●ノードやルームの一覧から探す

1. 上段にローカルノードが表示されている状態で **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【SEARCH & DIRECT】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   カテゴリーリストが表示されます



2. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【ALL】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   - 接続可能なノードとルームの一覧が表示されます
   - ルーム、ノードの順に表示されます
   - ルームの行には右側にアクティビティ(ルームに接続しているノードの数)が表示されます

3. **DIAL** ツマミ(右側)をまわしてノードまたはルームを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押すと接続が始まります
   DIAL ツマミ(右側)をまわして接続先を選択して、**PTT** スイッチを押すと接続して、そのまま通信をすることができます
   - 接続に成功すると、接続先ノード(ルーム)のメニューリストが表示されます
   - 接続できなかった場合はエラーメッセージが表示されたあと、ノードとルームの一覧に戻ります

●ノード名やルーム名から探す

1. 上段にローカルノードが表示されている状態で **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【SEARCH & DIRECT】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   カテゴリーリストが表示されます
2. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【SEARCH & DIRECT】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   文字入力画面が表示されます
3. ルーム名又はノード名の一部または全部を入力して **DIAL** ツマミ(右側)を長押しします
   部分的に名前が一致 (前方一致) する接続先があると、一覧が表示されます。画面に”CQ”→ 36 のように検索した文字列と一致した件数が表示されます

   - 一致する接続先がなかった場合は“No Data”と表示されたあと、文字入力画面に戻ります
   - 完全に名前が一致する接続先があると、すぐに接続が開始されます
   - 検索結果は、ルーム、ノードの順に表示されます
   - ルームの行では右端にアクティビティ(ルームに接続中のノードの数)が表示されます
4. **DIAL** ツマミ(右側)をまわしてノードまたはルームを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押すと接続が始まります
   - **DIAL** ツマミ(右側)をまわして接続先を選択して、**PTT** スイッチを押すと接続して、そのまま通信をすることができます
   - 接続に成功すると接続先ノードのメニューリストが表示されます
   - 接続できなかった場合はエラーメッセージが表示されたあと、ノードとルームの一覧に戻ります

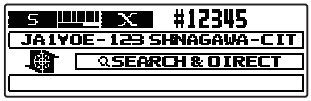
●最後に接続したノードやルームに接続する

以前にインターネット上のノードやルームに接続したことがあると、画面の下段に最後に接続したノードやルームが点滅表示されます
DIAL ツマミ(右側)をまわして点滅表示しているノード、またはルームを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押すか **PTT** スイッチを押すと接続が開始されます。接続に成功すると、接続先ノードのメニューリストが表示されます

- 下段のノード名またはルーム名の先頭に“▶”が表示されているときは、**DIAL** ツマミ(右側)をまわすと、最後に接続したノードが表示されます
- 接続できなかった場合はエラーメッセージが表示されたあと、ノードとルームの一覧に戻ります

●ノードやルームの DTMF ID 番号を入力して接続する

1. WIRES-X 接続画面が表示されている時に、マイクロホンの [#] キーを長押ししま す
   周波数表示部分に“#”が表示されます
2. マイクロホンのテンキーを押して DTMF ID（5桁）を入力し [#] キーを押します
   - 接続が始まり、DTMF ID が点滅表示されます
   - 接続に成功すると、接続先ノードのメニューリストが表示されます



   - 接続できなかった場合は、エラーメッセージが表示されますので、マイクロホンのテンキーを押して DTMF ID（5桁）を入力し [#] キーを押します
   - 入力を止める場合はマイクロホンの [＊] キーを押します

交信する

1. 接続先が表示されている状態で **PTT** スイッチを押してマイクに向かって話します。
2. **PTT** スイッチを放すと受信状態に戻ります

●接続したノードやルームを切断する

1. WIRES-X 接続画面が表示されている時にマイクロホンの [＊] キーを長押しします

WIRES-X の運用を終了する

1. PMG キーを短押しします
2. 周波数表示の左側に表示されていた“ X ”アイコンが消えて通常画面に戻ります
   切断の操作をしなかった場合には、ローカルノードとインターネット上のノードまたはルームとの接続は継続されます

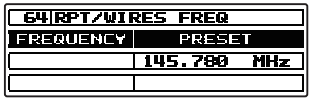
デジタルモードでの便利な機能

プリセットチャンネルを使う

あらかじめチャンネル周波数を登録(プリセット)しておくことにより、簡単にローカルノードに接続できます
仲間のノード同士でチャンネル周波数を申し合わせておけば、移動先でも簡単にローカルノードに接続できるので、グループでの運用などに便利です

●プリセットチャンネルを登録する

1. (BACK) キー長押し → **【64 RPT/WIRES FREQ】** → **DIAL** ツマミ(右側)を短押し
2. もう一度 **DIAL** ツマミ(右側)を押してから **DIAL** ツマミ(右側)をまわして“**PRESET**”を選択します
   - PRESET 周波数の設定項目が表示されます
   - 工場出荷時設定は“**MANUAL**”です



3 (BACK) キーを押します
4. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして PRESET 周波数表示を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
5. **DIAL** ツマミ(右側)をまわしてプリセット周波数を設定します
   - プリセット周波数の設定中に (BAND GROUP) キーを押すと 144MHz 帯と 430MHz 帯を切り替えることができます
   - 工場出荷時設定：145.780MHz、438.980MHz
6. (BACK) 、(⏻) 以外のキーやツマミを押すと設定を終了して運用画面に戻ります

●プリセットチャンネルを使うのをやめる

上記の手順2で“**MANUAL**”に設定します

●プリセットチャンネルを使ってローカルノードに接続する

1. 上記の“**プリセットチャンネルを登録する**”の手順にしたがって、プリセットチャンネルを設定します
2 (BACK) キー短押し
3. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【WIRES-X】**を選択 → **DIAL** ツマミ(右側)を短押し
   周波数が自動でプリセット周波数に変わり、周波数表示の左上に“**P**”アイコンと“ X ”アイコンが交互に点滅表示します
4. ローカルノードが見つかると“ X ”が点灯し、画面の下段にノードの名前と都市名が表示されます
   ローカルノードが見つからない場合は、約 20 秒後に“**P**”アイコンと“ X ”アイコンが消えます

> i 見つかったローカルノードが、プリセットチャンネルの周波数と異なる周波数を設定している場合は、ローカルノードの周波数に自動的に切り替わります。

登録したノードやルームに接続する

インターネット上のノードやルームを、5 つのカテゴリーに分類して FTM-310D に登録しておき、簡単に呼び出して接続することができます。それぞれのカテゴリーにはノードやルームを 20 個まで登録できます

●カテゴリーにタグ(名前)を付ける

1. (BACK) キー長押し → **【66 EDIT CATEGORY TAG】** → **DIAL** ツマミ(右側)を短押し
2. **DIAL** ツマミ(右側)をまわしてカテゴリー“**C1**” ～ “**C5**”のいずれかを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   文字入力画面が表示されます。

3. **DIAL** ツマミ(右側)を使ってカテゴリー名を入力します
4. **DIAL** ツマミ(右側)を長押しするとカテゴリー名を保存して前の画面に戻ります。
   他のカテゴリーの名前を設定する場合は、手順 2 と 3 を繰り返します
5. (BACK) 、(POWER) 以外のキーやツマミを押すと設定を終了して運用画面に戻ります

●ノードやルームを登録する

1. 接続中に **DIAL** ツマミ(右側)をまわして接続先のノードまたはルームを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   接続先ノードのメニューリストが表示されます
2. **DIAL** ツマミ(左側)を押します
3. **DIAL** ツマミ(左側)をまわして**【ADD】**を選択して **DIAL** ツマミ(左側)を押します
   カテゴリーリストが表示されます
4. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして登録するカテゴリー**【C1】** ～**【C5】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   すでに登録しているノードおよびルームの一覧とともに、現在接続中のノードまたはルームの名前が、一番下の行に追加されます
5 (BACK) キーを押して接続先ノードのメニューリスト画面に戻ります

●登録したノードやルームに接続する

1. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【SEARCH & DIRECT】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   カテゴリーリストが表示されます
2. **DIAL** ツマミ(右側)をまわしてカテゴリー**【C1】**～**【C5】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   - 登録されているノードとルームの一覧が表示されます

3. **DIAL** ツマミ（右側）をまわしてノードまたはルームを選択して **DIAL** ツマミ（右側）を押すと接続が始まります

   DIAL ツマミ（右側）をまわして接続先を選択して、**PTT** スイッチを押すと接続して、そのまま通信をすることができます

   > [F BACK]キー長押し → “**65 SEARCH SETUP**”で、一覧の表示順を“**ACTIVITY**”（アクティビティ順）または“**HISTORY**”（アクセス履歴順）から選べます
   > 工場出荷時設定：“HISTORY”

   - 接続に成功すると、接続先ノードまたはルームのメニューリストが表示されます
   - 接続できなかった場合はエラーメッセージが表示されたあと、ノードとルームの一覧に戻ります

アナログノードに接続する

接続したいノードがアナログ局の場合は、本機の DTMF 機能を使って接続します
DTMF 機能の詳しい使い方は、取扱説明書(詳細編)の“**DTMF 機能を使う**”を参照してください

インターネット上のノードやルームに接続する

1. 操作バンドの周波数を、ローカルノードの周波数にあわせます
2. [**SQL/VOL**] ツマミを長押しして“**アナログ FM**”モードに切り替えます
   詳しくは、取扱説明書の“**通信モードを選択する**”を参照してください
3. **PTT** スイッチを押したままマイクロホンのテンキーを押して、接続するノード、またはルームの DTMF ID(#と 5 桁の数字)を送信します
4. **PTT** スイッチを放して、約 10 秒間受信します
   接続されると、音声が聞こえるようになります
   アナログノード局に接続した場合は、接続先を表示する画面は表示されません

本機では、最大 16 桁の DTMF コードを 9 件メモリーできます。よく使う接続先の DTMF ID(先頭に # が必要)をメモリーしておけば、(F DATA9)キー長押し → [**45 DTMF MEMORY**] → を **DIAL** ツマミ(右側)で選択して PTT スイッチを押すだけで、DTMF コードを自動で送出できます。
DTMF 機能について、詳しくは、取扱説明書 < 詳細編 > の“**DTMF 機能**”を参照してください

交信する

1. **PTT** スイッチを押して、マイクに向かって話します
2. **PTT** スイッチを放すと、受信状態になります

接続したアナログノードやルームを切断する

1. **PTT** スイッチを押したまま、マイクロホンのテンキーを押して“**#99999**”(DTMF の切断コマンド)を送信します
2. 接続しているインターネット上のノード、またはルームが切断されます

WIRES-X のニュース機能を使う(デジタルノードのみ)

デジタルモードで WIRES-X を使っているときは、メッセージ(テキスト)データをやり取りしたり、音声メッセージの再生や録音ができます

ニュース機能を使うときは、本機に microSD メモリーカードをセットしておいてください

メッセージを見る

ローカルノードまたはインターネット上のノードやルームが送受信したメッセージ(テキスト)を、本機で見ることができます

ローカルノードのメッセージを見る

1. ローカルノードに接続中に、**DIAL** ツマミ(右側)をまわしてローカルノードを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
2. **DIAL** ツマミ(右側)をまわしてメッセージを表示するローカルノードまたは自局が参加しているクローズドルームを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   データの取得に成功すると、ローカルノードのニュース機能のメニューリストが表示されます
3. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【NEWS STATION】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   UPLOAD(送信)または DOWNLOAD(受信)の選択画面が表示されます
4. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【DOWNLOAD】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   データの種類を選ぶ画面が表示されます
5. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【MESSAGE】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   - メッセージデータの取得に成功すると、メッセージの一覧が表示されます
   - 登録されているデータが新しい順に表示されます
6. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして内容を表示するメッセージを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   メッセージデータが取り込まれ、メッセージの内容が表示されます
7. (BACK)キーを押すと、データの一覧表示に戻ります

各画面で (BACK)キーを押すと、ひとつ前の画面に戻ります

WIRES-X サーバー(INT NEWS)のメッセージを見る

当社が WIRES-X サーバーで提供しているメッセージ(テキスト)を、本機で見ることができます

1. **DIAL** ツマミ(右側)をまわしてローカルノードを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します。
   DIAL ツマミ(右側)をまわしてインターネット上のノードやルームを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押して操作することもできます。その場合は手順 3 に進みます
2. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして LOCAL NEWS に表示されているローカルノード名を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   データの取得に成功すると、ローカルノードのニュース機能のメニューリストが表示されます
3. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【INT NEWS】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   WIRES-X サーバーのメニューが表示されます
4. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【NEWS STATION】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   データの種類を選ぶ画面が表示されます
5. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【MESSAGE】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   - メッセージデータの取得に成功すると、メッセージの一覧が表示されます
   - 登録されているデータが新しい順に表示されます
6. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして内容を表示するメッセージを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   メッセージデータが取り込まれ、メッセージの内容が表示されます
7. (CLR/BACK)キーを押すとデータの一覧に戻ります

インターネット上のノードやルームのメッセージを見る

1. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして接続先のノードまたはルームを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します。
   インターネット上のノードまたはルームのメニューリストが表示されます
2. “**ローカルノードのメッセージを見る**”(17 ページ)の手順 3 ～ 7 に従ってデータを取り込みます

保存したデータをあとから見る

本機に保存したデータはあとから確認することもできます

> WIRES-X に接続していない通常画面では、[F/DATA]キー長押し → **【63 LOG LIST】** → **DIAL** ツマミ(右側)を短押しすると、本機に保存されているメッセージや画像を見ることができます

1. “**ローカルノードのメッセージを見る**”(17 ページ)の手順 1 ～ 2 に従って、データの種類を選ぶ画面を表示します
2. **DIAL** ツマミ(右側)を 2 回押します
   データの種類を選択するメニュー画面が表示されます
3. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【MESSAGE】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します。
   - データの一覧が表示されます
   - 保存されているデータが新しい順に表示されます

> - この画面で **FUNC** ツマミをまわして**【VOICE】**を選択して **FUNC** ツマミを押すと、本機の microSD メモリーカードに録音した音声ファイルの再生ができます
> - ニュース機能の VOICE 音声データは本機に取り込むことはできません

4. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして内容を表示するメッセージを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   メッセージの内容が表示されます
5. [F/DATA]キーを押すと、データの一覧に戻ります

取り込んだデータを整理する

データを削除する

1. 上記の“**保存したデータをあとから見る**”の手順 1 ～3に従って、メッセージの内容を表示します
2. **DIAL** ツマミ(左側)を押してからまわして**【DEL】**を選択して **DIAL** ツマミ(左側)を押します
   確認のメッセージが表示されます
3. **DIAL** ツマミ(左側)をまわして**【OK】**を選択して **DIAL** ツマミ(左側)を押します
   データが削除され、データの一覧に戻ります

音声メッセージを聞く

ローカルノードまたはインターネット上のノードやルームが送受信した音声のデータを、再生して聞くことができます
音声データは次の 2 つのカテゴリーに分かれています

EMERGENCY： 緊急メッセージ
ノードやルームでの設定により、情報が登録されてから 2 時間は 5 分間隔で接続中のノードやルームに強制配信されます

NEWS STATION： 通常メッセージ
ノードやルームで削除しないかぎり、いつでも聞くことができます

ニュース機能の VOICE 音声データは本機に取り込むことはできません

ローカルノードの緊急の音声メッセージを聞く

1. “**ローカルノードのメッセージを見る**”（17 ページ）の手順 1 ～2 に従ってローカルノードのメニューリストを表示します。
2. **DIAL** ツマミ（右側）をまわして**【EMERGENCY】**を選択して **DIAL** ツマミ（右側）を押します
   - データの一覧が表示されます
   - 登録されているデータが新しい順に表示されます
   - 登録から 2 時間以内のデータは点滅表示されます
3. **DIAL** ツマミ（右側）をまわして再生する音声メッセージを選択して **DIAL** ツマミ（右側）を押します
   - 音声の再生が始まり、スピーカーのアイコンが点滅します
   - 再生が終わると、データの一覧に戻ります

ローカルノードの通常の音声メッセージを聞く

1. “**ローカルノードのメッセージを見る**”（17 ページ）の手順 1 ～ 4 に従ってデータの種類を選ぶ画面を表示します。
2. **DIAL** ツマミ（右側）をまわして**【VOICE】**を選択して **DIAL** ツマミ（右側）を押します
   - データの一覧が表示されます
   - 登録されているデータが新しい順に表示されます
3. **DIAL** ツマミ（右側）をまわして再生する音声を選択して **DIAL** ツマミ（右側）を押します
   - 音声の再生が始まり、スピーカーのアイコンが点滅します
   - 再生が終わるとデータの一覧に戻ります

WIRES-X サーバー（INT NEWS）の通常の音声メッセージを聞く

1. “**WIRES-X サーバー（INT NEWS）のメッセージを見る**”（18 ページ）の手順 1 ～ 4 に従ってデータの種類を選ぶ画面を表示します
2. **DIAL** ツマミ（右側）をまわして**【VOICE】**を選択して **DIAL** ツマミ（右側）を押します
   - データの一覧が表示されます
   - 登録されているデータが新しい順に表示されます
3. **DIAL** ツマミ（右側）をまわして再生する音声メッセージを選択して **DIAL** ツマミ（右側）を押します
   - 音声の再生が始まり、スピーカーのアイコンが点滅します
   - 再生が終わると、データの一覧に戻ります

インターネット上のノードやルームの緊急の音声メッセージを聞く

1. **DIAL** ツマミ（右側）をまわして接続先のノードまたはルームを選択して **DIAL** ツマミ（右側）を押します
   インターネット上のノードまたはルームのメニューリストが表示されます
2. “**ローカルノードのメッセージを見る**”（17 ページ）の手順 3 ～ 4 に従って操作します
3. **DIAL** ツマミ（右側）をまわして**【EMERGENCY】**を選択して **DIAL** ツマミ（右側）を押します
   データの一覧が表示されます
   - 登録されているデータが新しい順に表示されます
   - 登録から 2 時間以内のデータは点滅表示されます
4. **DIAL** ツマミ（右側）をまわして再生する音声を選択して **DIAL** ツマミ（右側）を押します
   音声の再生が始まり、スピーカーのアイコンが点滅します
   再生が終わると、接続先のメニューリストに戻ります

インターネット上のノードやルームの通常の音声メッセージを聞く

1. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして接続先のノードまたはルームを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   インターネット上のノードまたはルームのメニューリストが表示されます
2. “**ローカルノードの通常の音声メッセージを聞く**”(21 ページ)の手順 2 ～ 3 に従って音声を再生します

メッセージを送る

本機に挿入した microSD メモリーカードに保存されているメッセージ(テキスト)や画像を、ローカルノードまたはインターネット上のノードやルームに送ることができます。メッセージは、新たに入力して送ることもできます

ローカルノードにメッセージを作成して送る

1. “**ローカルノードのメッセージを見る**”(17 ページ)の手順 1 ～ 3 に従って UPLOAD(送信)または DOWNLOAD(受信)を選ぶ画面を表示します
2. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【UPLOAD】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   データの種類を選ぶ画面が表示されます
3. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【MESSAGE】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   データの一覧が表示されます
4. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【NEW】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   メッセージ画面が表示されます
5. **DIAL** ツマミ(左側)を押してからまわして**【EDIT】**を選択して、**DIAL** ツマミ(左側)を押します
6. **DIAL** ツマミ(右側)を使ってメッセージ(最大 80 文字)を入力します
7. メッセージの入力が終わったら **DIAL** ツマミ(右側)を長押しします
   メッセージ画面に戻り、入力したメッセージが表示されます
8. **DIAL** ツマミ(左側)を押してからまわして**【UPLOAD】**を選択して、**DIAL** ツマミ(左側)を押します
   - メッセージの送信が始まります
   - 入力したメッセージを後から呼び出せる定型文として保存するには **DIAL** ツマミ(左側)をまわして**【SAVE】**を選択して、**DIAL** ツマミ(左側)を押します。(詳しい操作については下記の“**定型文を登録する**”を参照してください)
   - メッセージが正常に送信されると“Completed”と表示して、メッセージの一覧に戻ります

●定型文を呼び出してメッセージに入力する

あらかじめ登録した 10 件の定型文(登録の手順は下記の“**定型文を登録する**”を参照)または本機に登録されている定型文を呼び出して、メッセージに入力できます

1. メッセージ入力画面で **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【#%^】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
2. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【MTXT】**を選択して、**DIAL** ツマミ(右側)を押します
3. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして定型文を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   あらかじめ登録した 10 件の定型文の後に、本機に登録されている定型文が表示されます

●本機に登録されている定型文

QRM	QSY	Good night	Pick me up
QRP	Good morning	Send messages	Thank you
QRT	Good job	Send pictures	OK
QRX	Good day	on my way	urgent
QRZ	Good evening	wait for you	

●定型文を登録する

最大 80 文字のメッセージを定型文として登録(最大 10 件)きます。登録したテキストは、あらかじめ登録されている 19 個の定型文と同様に呼び出してメッセージに入力できます

1. “**ローカルノードにメッセージを作成して送る**”(22 ページ)の手順 1 ～ 7 に従ってメッセージを作成します
2. **DIAL** ツマミ(左側)を押してからまわして**【SAVE】**を選択して、**DIAL** ツマミ(左側)を押します
   定型文のリスト画面が表示されます
3. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして定型メッセージを登録する番号(1 ～ 10)を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   定型文が登録されて、メッセージ画面に戻ります

保存されているメッセージまたは画像をローカルノードに送る

1. “**ローカルノードにメッセージを作成して送る**”(22 ページ)の手順 1 ～ 2 に従ってデータの種類を選ぶ画面を表示します
2. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【MESSAGE】**または**【PICT】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   データの一覧が表示されます
3. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして送信するメッセージまたは画像を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   選択したメッセージまたは画像が表示されます
4. **DIAL** ツマミ(左側)を押してからまわして**【UPLOAD】**を選択して、**DIAL** ツマミ(左側)を押します
   データが正常に送信されると“**Completed**”と表示され、データの一覧に戻ります

インターネット上のノードやルームにメッセージを作成して送る

1. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして接続先のノードまたはルームを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   インターネット上のノードまたはルームのメニューリストが表示されます
2. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【NEWS STATION】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   UPLOAD(送信)または DOWNLOAD(受信)を選ぶ画面が表示されます
3. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**【UPLOAD】**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   データの種類を選ぶ画面が表示されます
4. “**ローカルノードにメッセージを作成して送る**”(22 ページ)の手順 3 ～ 8 に従ってメッセージを作成して送ります

保存されているメッセージまたは画像をインターネット上のノードやルームに送る

1. 上記の“**インターネット上のノードやルームにメッセージを作成して送る**”の手順 1 ～ 3 に従ってデータの種類を選ぶ画面を表示します
2. 上記の“**保存されているメッセージまたは画像をローカルノードに送る**”の手順2～4 に従ってデータを選択して送ります。

音声メッセージを送る

マイクロホンに向かって話した音声を、データとしてローカルノードまたはインターネット上のノードやルームに送ることができます

音声データは次の 2 つのカテゴリーに分かれています

EMERGENCY： 緊急の情報です
ノードやルームでの設定により、情報が登録されてから 2 時間までは、5 分毎に接続中のノードやルームに強制配信されます

NEWS STATION： 通常のメッセージです
ノードやルームで削除されないかぎり、いつでも聞くことができます

ローカルノードに緊急の情報を送る

1. “**ローカルノードのメッセージを見る**”（17 ページ）の手順 1 ～ 2 に従ってローカルノードのメニューリストを表示します
2. **DIAL** ツマミ（右側）をまわして [**EMERGENCY**] を選択します
3. **PTT** スイッチを押すと、ビープ音が鳴って“**EMERGENCY Upload?**”と確認画面が表示されます。緊急の情報を送る場合は、そのまま **PTT** スイッチを押し続けると、ビープ音が 3 回鳴った後に約 5 秒間“**EMERGENCY UPLOADING**”が表示され、その後カウントダウンを開始しますのでマイクに向かってメッセージを話します。録音可能な時間は最大 1 分間です。1 分を越えた部分の音声は保存されません
4. 話が終わったら **PTT** スイッチを放します
   メッセージが受け付けられると“**Completed**”と表示され、ローカルノードのメニューリストに戻ります

ローカルノードに通常の音声メッセージを送る

1. “**ローカルノードのメッセージを見る**”（17 ページ）の手順 1 ～ 3 に従って UPLOAD（送信）または DOWNLOAD（受信）を選ぶ画面を表示します
2. **DIAL** ツマミ（右側）をまわして**【UPLOAD】**を選択して **DIAL** ツマミ（右側）を押します
   データの種類を選ぶ画面が表示されます
3. **DIAL** ツマミ（右側）をまわして**【VOICE】**を選択してから **DIAL** ツマミ（右側）を押します
4. **“VOICE”**が点滅したら **PTT** スイッチを押しながら、マイクに向かってメッセージを話します
   録音可能な時間は最大 1 分間です。1 分を越えた部分の音声は保存されません
5. 話が終わったら **PTT** スイッチを放します
   メッセージが正常に送信されると“**Completed**”と表示され、**“VOICE”**が点滅します
6. （F BACK）キーを押すと、データの種類を選択する画面に戻ります

インターネット上のノードやルームに緊急の情報を送る

1. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして接続先のノードまたはルームを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   インターネット上のノードまたはルームのメニューリストが表示されます
2. “**ローカルノードに緊急の情報を送る**”(25 ページ)の手順 2 ～ 4 に従ってメッセージを送ります

インターネット上のノードやルームに通常の音声メッセージを送る

1. “**インターネット上のノードやルームにメッセージを作成して送る**”(24 ページ)の手順 1 ～ 2 に従って UPLOAD(送信)または DOWNLOAD(受信)を選ぶ画面を表示します
2. “**ローカルノードに通常の音声メッセージを送る**”(25 ページ)の手順 2 ～ 5 に従ってメッセージを送ります

WIRES-X セットアップメニュー

WIRES-X セットアップメニュー一覧

メニュー / 項目	機能説明	選択できる項目 （太字は工場出荷時設定）
64 RPT/WIRES FREQ	WIRES-X の運用周波数の設定	**MANUAL** / PRESET
	プリセット周波数の設定 （プリセット周波数の設定中に [BAND SCOPE] キーを押すと 144MHz 帯 と 430MHz 帯が切り替わります）	144.000 ～ 146.000 **145.780** 430.000 ～ 440.000 **438.980**
65 SEARCH SETUP	ノード / ルーム一覧の表示順の設定	**HISTORY** / ACTIVITY
66 EDIT CATEGORY TAG	カテゴリー名の編集	C1 ～ C5
67 DELETE ROOM/NODE	登録されているノード / ルームの削除	C1 ～ C5 1 ～ 20 件
68 WIRES DG-ID	WIRES-X モードでローカルノードに接続する DG-ID 設定	01 ～ 99 / **AUTO**

WIRES-X セットアップメニューを使う

レピータ /WIRES-X の運用周波数の設定

[**D X**] キーを押してローカルノードを探すときに、常にプリセットした周波数を使用するように設定できます。
詳しい操作については、“**プリセットチャンネルを使う**”（13 ページ）を参照してください。

ノード / ルーム一覧の表示順の設定

カテゴリーの表示中にインターネット上の接続先をソートする条件を設定します。

1. [BACK] キーを長押し → **【65 SEARCH SETUP】** → **DIAL** ツマミ（右側）を短押し
2. **DIAL** ツマミ（右側）をまわして“**HISTORY**”または“**ACTIVITY**”を選択します
   HISTORY： 自局が最近接続した接続先から順に、表示します
   ACTIVITY： 接続してるノードが多いルームから順に表示します。ノードはルームの後に表示されます
3. [BACK]、[PWR] 以外のキーやツマミを押すと設定を終了して運用画面に戻ります

カテゴリータグ（名前）の編集

ノードやルームを登録できる 5 つのカテゴリーに、16 文字までの名前をつけることができます。
詳細は“**ノードやルームを登録する**”（14 ページ）を参照してください。

カテゴリーに登録したノード / ルームの削除

5 つのカテゴリーに登録したノードやルームを消去できます。

1. (BACK) キーを長押し → **【66 ROOM/NODE 削除】** → **DIAL** ツマミ(右側)を短押し
2. **DIAL** ツマミ(右側)をまわしてカテゴリーを選択して、**DIAL** ツマミ(右側)を押します
3. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして削除するノードまたはルームを選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   確認画面が表示されます
4. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして[**OK**]を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
   選択したノードまたはルームが削除されます
5. (BACK) 、(⏻) 以外のキーやツマミを押すと設定を終了して運用画面に戻ります

ノード局に接続する WIRES-X DG-ID 番号の設定

[**D X**] キーを押してローカルノード局に接続する時に使用される、WIRES-X の DG-ID 番号を設定します

1. (BACK) キーを長押し → **【68 WIRES DG-ID】** → **DIAL** ツマミ(右側)を短押し
2. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして接続したいノード局の DG-ID 番号を選択します
   AUTO： DG-ID 番号が"00"に設定されているオープンノード局に接続できます
   01 ～ **99**：設定した DG-ID 番号に一致するノード局のみ接続できます
   工場出荷時設定：AUTO
3. (BACK) 、(⏻) 以外のキーやツマミを押すと設定を終了して運用画面に戻ります

HRI-200 と接続してノード局に使用する

HRI-200 接続専用モード

FTM-310D/DS を HRI-200 に接続してノード局用の無線機として使用することができる専用のモードです。

1. FTM-310D/DS を HRI-200 と接続し、パソコン上で“WIRES-X ソフトウェア”を起動します。
2. FTM-310D/DS の [PMG] キーと [V/M] キーを同時に押しながら電源をオンにします。
   - HRI-200 接続専用モードになり、ディスプレイ中央に YAESU ロゴと“WIRES-X”が表示されます。
   - HRI-200 接続専用モードを解除して通常モードに戻るには、もう一度 [PMG] キーと [V/M] キーを同時に押しながら電源をオンにします。

WIRES-X ポータブルデジタルノード機能

外出先でもインターネット環境があれば、本機だけでデジタルノード局の運用ができる
「**WIRES-X ポータブルデジタルノード機能**」に関して詳しくは“**WIRES-X ポータブルデジタルノード機能 取扱説明書**”（当社ウェブサイトからダウンロードできます）を参照してください

YAESU

Radio for Professionals

本製品または他の当社製品についてのお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、
当社カスタマーサポートにお願いいたします。

八重洲無線株式会社　カスタマーサポート
電話番号　0570-088013
受付時間　平日 9：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00

八重洲無線株式会社 〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-3　大森ベルポートD-3F

ⓒ2025 **八重洲無線株式会社**　無断転載・複写を禁ず

2508-A